

## 業績概要

【09年度3Q累計実績:67億円(前年同期比▲249億円)】

### ・鋼材

海外スチールサービスセンター事業では、足元で回復しているが、上期に需要が低迷した影響あり。  
国内は需要・市況の持ち直しのスピードが想定より緩慢。

### ・鋼管

北米鋼管事業では、需要の低迷に加え市況の下落もあり低迷。

### 【主な投資・資産入替実績】

- ・中国ステンレス加工・販売会社へ出資参画(5月)
- ・インド鋼材加工センター設立(3月稼働開始予定)

	(単位:億円)			
	2008年度 3Q累計	2008年度 通期	2009年度 3Q累計	2009年度 通期見通し
売上総利益	759	864	390	-
営業利益	415	401	70	-
持分法損益	67	88	23	-
当期純利益	316	297	67	100
総資産	7,653	6,455	5,881	-

※2009年度通期見通しは10月時点。

### 【主要事業会社実績】※当事業部門持分損益 (単位:億円)

会社名(当部門持分割合/全社持分割合):FY09.3Q累計(前年同期比)

・ERYNGIUM(27/90):	7	(▲8)
・NATIONAL PIPE:	7	(▲2)
・SC PIPE SERVICES:	▲3	(▲48)
・ASIAN STEEL:	1	(▲17)

### 【事業概況】

- ・鋼材: 海外スチールサービスセンター事業の稼働率は回復。(10-12月の稼働率は80-90%程度)
- ・鋼管: 北米鋼管事業では、開発用リグの減少も底をうち、市場の在庫調整も徐々に進捗する見通し。

# 輸送機・建機

## 業績概要

【09年度3Q累計実績:123億円(前年同期比▲151億円)】

### ・自動車

インドネシアの金融事業好調。自動車販売事業減益。

### ・建機

主要市場における一般建機の低迷により売上が大幅に減少。

### ・船舶・航空宇宙・車輛

船舶事業堅調。  
JAL優先株式減損 ▲15

### 【主な投資・資産入替実績】

- ・フィリピンで二輪車向ファイナンス会社設立(11月)
- ・米国建機レンタル事業に参画(12月)

	(単位:億円)			
	2008年度 3Q累計	2008年度 通期	2009年度 3Q累計	2009年度 通期見通し
売上総利益	1,311	1,556	957	-
営業利益	407	432	169	-
持分法損益	67	77	66	-
当期純利益	274	293	123	140
総資産	15,493	14,514	14,023	-

※2009年度通期見通しは10月時点。

### 【主要事業会社実績】※当事業部門持分損益

会社名(当部門持分割合/全社持分割合):FY09.3Q累計(前年同期比)

・SOF(89.6/99.6):	28	(+24)
・OTO:	28	(+8)
・住友三井オートサービス:	15	(▲8)

### 【事業概況】

- ・自動車: インドネシアの金融事業は堅調に推移する見通し。自動車販売事業は中国・アジア等一部の市場を除き低迷が続く。
- ・建機: 中国の需要は強含みで推移。但し、その他の地域は依然低迷。
- ・船舶: 堅調に推移する見通し。

## 業績概要

【09年度3Q累計実績:97億円(前年同期比▲23億円)】

・IPP/IWPP

既存のアジア・中東等の電力事業は底堅く推移。

・その他

通信関連ビジネス等減益。

【主な投資・資産入替実績】

- ・米国Stanton風力発電権益取得(7月)
- ・米国Mid-Georgia複合火力発電所権益取得(11月)

	(単位:億円)			
	2008年度 3Q累計	2008年度 通期	2009年度 3Q累計	2009年度 通期見通し
売上総利益	290	404	227	-
営業利益	105	155	45	-
持分法損益	66	76	42	-
当期純利益	120	165	97	120
総資産	5,019	4,825	4,852	-

※2009年度通期見通しは10月時点。

【主要事業会社実績】※当事業部門持分損益

会社名(当部門持分割合/全社持分割合): FY09.3Q累計(前年同期比)

- ・PERENNIAL POWER HOLDINGS(50.01/100): 7 (0)
- ・MOBICOM: 12 (▲7)
- ・住商機電貿(55.5/100): 3 (▲5)

【事業概況】

- ・IPP/IWPP: 電力事業は堅調に推移する見通し。
- ・電力・プラントEPC: アジア・中東・CIS等で大型案件が減少。

# メディア・ライフスタイル

## 業績概要

【09年度3Q累計実績:81億円(前年同期比▲28億円)】

・主要事業会社

ジュピターテレコム堅調。  
完全子会社化によりショップチャンネル増益。

・その他

ブランドビジネス、サミットでは消費低迷の影響あり。  
映画制作・配給ビジネス不調。

【主な投資・資産入替実績】

- ・クスリのカツマタ買収(7月)

	(単位:億円)			
	2008年度 3Q累計	2008年度 通期	2009年度 3Q累計	2009年度 通期見通し
売上総利益	1,314	1,764	1,310	-
営業利益	128	164	65	-
持分法損益	72	100	36	-
当期純利益	109	85	81	130
総資産	6,712	6,969	6,457	-

※2009年度通期見通しは10月時点。

【主要事業会社実績】※当事業部門持分損益

会社名(部門持分割合/全社持分割合): FY09.3Q累計(前年同期比)

- ・ジュピターテレコム: 65 (+6)
- ・ジュピターショップチャンネル: 72 (+12)
- ・サミット(92.5/100): 21 (▲3)
- ・住商情報システム: 10 (0)
- ・モンリーブ(99/100): 4 (▲3)
- ・アスミック・エース エンタテインメント: ▲13 (▲8)

【事業概況】

- ・主要事業会社: 厳しい消費環境ながら、ジュピターテレコム、ショップチャンネルが堅調。下期偏重型の住商情報システムが堅調に推移する見通し。

業績概要

【09年度3Q累計実績：494億円（前年同期比+15億円）】

（数字は増減額[FY08 3Q累計実績→FY09 3Q累計実績]）

- ・銅事業：市況下落により減益。▲13[81→68]
- ・ポリビア銀・亜鉛・鉛（サンクリストバル）事業  
操業安定及び市況上昇により大幅増益。+137[▲30→107]  
価格ヘッジ損益 ▲107[77→▲30]
- ・豪州石炭事業：販売価格下落により減益。
- ・南ア鉄鉱石・マンガン事業  
持分比率増、市況上昇により増益。
- ・化学品  
農薬ビジネス販売量減少。Cantex販売量減少。  
硫黄・硫酸ビジネス市況下落。

【主な投資・資産入替実績】

- ・英領北海権益(5月)／ポゴ金鉱山権益取得(7月)
- ・米国シェールガス権益取得(12月)
- ・PSIUK株式(11月)／ハツビジャウ権益一部(11月/12月)売却

※2009年度通期見通しは10月時点。

(単位：億円)

	2008年度 3Q累計	2008年度 通期	2009年度 3Q累計	2009年度 通期見通し
売上総利益	877	919	564	-
営業利益	454	347	143	-
持分法損益	317	370	244	-
当期純利益	478	432	494	290
総資産	10,769	9,680	10,881	-

【主要事業会社実績】※当事業部門持分損益

会社名(当部門持分割合/全社持分割合)：FY09.3Q累計(前年同期比)

・ポリビア銀・亜鉛・鉛事業会社2社：	107 (+137)
・Oresteel Investments(45/49)：	84 (+74)
・Sumisho Coal Australia：	69 (▲160)
・ヌサ・テンガラ・マイニング：	59 (+22)
・Petro Summit(80/100)：	14 (+11)
・SC Minerals America(84.75/100)：	16 (▲5)
・北海油田事業権益保有会社3社：	11 (▲23)
・SMM Cerro Verde：	10 (▲24)
・エルエヌジー・ジャパン：	4 (▲20)
・Summit Agro Europe(80/100)：	8 (▲14)
・The Hartz Mountain(40.59/100)：	3 (+4)
・Cantex(55/100)：	▲5 (0)

【事業概況】

- ・非鉄(銅、亜鉛等)、原油事業：期初の計画を上回る水準で資源価格が推移。サンクリストバルは生産順調。
- ・豪州石炭事業：主力原料炭鉱山で8月より減産を解除。[原料炭持分生産量：1.4(期初見通し)→2.5百万トン]
- ・Cantex：住宅・商業施設着工低迷の影響続く。

[市況の状況]

	FY08 持分生産量 実績	FY09 持分生産量 見通し	FY09.1-3Q 持分生産量 実績	センチ ビティ (年間ベース 価格ヘッジ考慮前)	FY08 価格 実績	FY09 価格 見通し	FY09. 1-3Q 価格実績
原料炭	1.8百万t	2.5百万t	1.8百万t	1.5億円(\$1/t)	\$285-300/t	\$128/t	-
一般炭	2.0百万t	2.0百万t	1.5百万t	1.3億円(\$1/t)	\$125/t	\$70/t	-
銅	6.8万t	8.6万t	6.2万t	0.7億円 (¢ 1/lb)	¢ 316/lb	¢ 233/lb	¢ 211/lb
内、ハツビジャウ	3.4万t	5.8万t	4.0万t				
銀	-	501t	387t	8.8億円 (\$1/oz)	-	\$14.7/oz	\$13.7/oz
亜鉛	-	246千t	187千t	2.5億円 (¢ 1/lb)	-	¢ 76/lb	¢ 67/lb
鉛	-	70千t	55千t	0.7億円 (¢ 1/lb)	-	¢ 79/lb	¢ 69/lb
原油、ガス	3.4百万bbl	4.2百万bbl	3.1百万bbl	1.2億円 (\$1/bbl)	\$99/bbl	\$62/bbl	\$58/bbl
LNG	10万t	12万t	7.5万t	-	-	-	-

※ 原料炭、一般炭：持分出荷量を記載。価格は市場情報に基づく一般的な取引価格。

銀・亜鉛・鉛：生産量はサンクリストバルプロジェクト100%ベース。(FY09.1Qの当社持分は35%、2Q以降は100%)

## 業績概要

【09年度3Q累計実績:68億円(前年同期比▲49億円)】

### ・食料

バナナ事業は上期好調。

肥料ビジネスは市況下落により減益。

### ・生活資材

木材・建材ビジネスは新設住宅着工が低迷し

引き続き厳しい状況。

TBCは車のメンテナンス需要を取り込んだことに加え、

オペレーションの効率化により増益。

### ・建設不動産

前期、住宅事業において大口物件あり。

	(単位:億円)			
	2008年度 3Q累計	2008年度 通期	2009年度 3Q累計	2009年度 通期見直し
売上総利益	881	1,111	704	-
営業利益	251	281	138	-
持分法損益	13	17	6	-
当期純利益	117	131	68	160
総資産	7,599	7,222	7,044	-

※2009年度通期見直しは10月時点。

### 【主要事業会社実績】※当事業部門持分損益

会社名(当部門持分割合/全社持分割合): FY09.3Q累計(前年同期比)

・バナナ事業:	23	(+12)
・TBC(40/100):	12	(+6)
・SUMMIT RURAL WA(50.01/100):	▲20	(▲20)

### 【事業概況】

- ・食料: バナナ事業は上期偏重。
- ・生活資材: 木材・建材ビジネスは期初の想定よりも回復が遅い。
- ・建設不動産: 資産入替に伴うバリュー実現を見込む。

# 金融・物流

## 業績概要

【09年度3Q累計実績:5億円(前年同期比+4億円)】

### ・三井住友ファイナンス&リース

資金調達コスト・投資有価証券評価損減少により増益。

### ・国内金融事業

大口の貸倒有り。

### ・その他

JAL関連損失 ▲21

(優先株式減損 ▲15、燃料デリバティブ関連 ▲6)

	(単位:億円)			
	2008年度 3Q累計	2008年度 通期	2009年度 3Q累計	2009年度 通期見直し
売上総利益	217	269	176	-
営業利益	6	0	▲26	-
持分法損益	43	38	57	-
当期純利益	1	▲16	5	30
総資産	5,916	5,815	5,789	-

※2009年度通期見直しは10月時点。

### 【主要事業会社実績】※当事業部門持分損益

会社名(当部門持分割合/全社持分割合): FY09.3Q累計(前年同期比)

・三井住友ファイナンス&リース(35/40):	59	(+11)
・Sumisho Aircraft Asset Management(95/100):	4	(▲2)

### 【事業概況】

- ・三井住友ファイナンス&リース: 景気低迷の影響により厳しい事業環境が続くものと予想される。